

## 神田 惟 (Yui KANDA)

(2018年4月1日最終更新)

kanda@ioc.u-tokyo.ac.jp

<https://oxford.academia.edu/YuiKanda>

### 【研究課題名】

中世～近世ペルシア語文化圏における工芸・文芸・宗教

Religion, Literature, and Visual Culture of the Medieval and Early-modern Persianate World

### 【専攻分野】

美術史学

### 【研究分野】

イスラーム美術史・考古学、イスラーム地域研究、碑文学（ペルシア語、アラビア語）、ペルシア文学、東洋史、文化交流史、工芸（陶芸）史、収集史

### ■学歴

2010年3月 東京大学文学部歴史文化学科美術史学専修課程（文科三類より進学）卒業

2012年3月 同大学院人文社会系研究科修士課程基礎文化研究専攻美術史学コース修了

2015年7月 オックスフォード大学大学院東洋学研究科哲学修士課程イスラーム美術史・考古コース M.Phil. in Islamic Art and Archaeology（休学 2014年1月～2015年1月）修了

2018年3月 東京大学大学院人文社会系研究科博士課程基礎文化研究専攻美術史学コース単位取得退学（休学 2012年10月～2015年3月）

### ■職歴

2015年4月～2018年3月 日本学術振興会特別研究員 DC1

2017年8月～2018年1月 ハーヴァード大学 Aga Khan Program for Islamic Architecture 客員院生研究員（研究指導委託制度を利用し滞在）

2018年1月～3月 京都造形芸術大学藝術学舎非常勤講師（2017年度冬期、「イスラーム美術史入門」、隔週火曜日、各2時間全5回）

2018年4月～ 東京大学教養学部英語部会非常勤講師（2018年度 S1S2A1A2 ターム、「教養英語（英語一列）」、火曜日3・4限）

### ■受賞歴

2017年10月28日 日本オリエント学会第39回（平成29年度）奨励賞受賞

### ■業績一覧

#### 【論文】

1. 神田惟. 2018. 「謎解きラスター彩陶：コードネームは【甘美ナ声ノ挽歌誦ミ】」『FIELDPLUS』19号, 28-29頁.（※招待有）
2. KANDA, Yui. 2017b. “Kashan Revisited: A Luster-painted Ceramic Tombstone inscribed with a Chronogram-Poem by Muhtasham Kashani,” *Muqarnas* 34, 273-86.（※査読付、英語）
3. KANDA, Yui. 2017a. “Revisiting the So-Called Ghaybī Workshop: Toward a History of Burjī Mamlūk Ceramics,” *Orient* 52, 39-57.（※査読付、英語）

#### 【その他出版物】

1. 神田惟. 「セッション3-2 Redefining the Total Structure of Sufism」『イスラーム地域研究

ジャーナル』8 (2016), 140–1 頁. (*5th International Conference of NIHU Program for Islamic Area Studies* パネル議事録)

#### 【学会報告 (国際会議)】

1. KANDA, Yui. *11<sup>th</sup> Biennale of Association for Iranian Studies*, “The Hanging of Brocaded Silk from the Mausoleum of ‘Alī in Najaf Inscribed with a Haft Band by Maulānā Hasan Kāshī (ca. AH 1129),” 口頭報告 (個人・英語), 2018年8月15日, 於 University of California, Irvine (Irvine, United States), **査読付・採択決定**
2. KANDA, Yui. *51st Annual Meeting of the Middle East Studies Association*, “Poetic Inscriptions on Crafts during the Early Safavid Period: The Poet as Decision-maker?,” 口頭報告 (個人・英語), 2017年11月19日, 於 Marriott Wardman Park Hotel Washington, DC (Washington, DC, United States), **査読付**
3. KANDA, Yui. *Association for the Study of Persianate Societies Inaugural Conference*, “Kashan Revisited: A Luster-painted Ceramic Tombstone inscribed with a Chronogram-Poem by Muḥtasham Kāshānī,” 口頭報告 (個人・英語), 2017年3月13日, 於 The University of Tehran (Tehran, Islamic Republic of Iran), **査読付**
4. KANDA, Yui. *11<sup>th</sup> Biennale of International Society for Iranian Studies*, “Safavid Ceramic Tombstones: Reconstruction of Funerary Practice in A.H. 11th/17th Century Iran,” 口頭報告 (個人・英語), 2016年8月3日, 於 University of Vienna (Vienna, Austria), **査読付**
5. KANDA, Yui. *13th European Meeting on Ancient Ceramics*, “Revisiting So-Called ‘Ghaybī’-Type Ware: Underglaze-painted Pottery from the 15th Century Cairo,” ポスター報告 (個人・英語), 2015年9月25日, 於 British School in Athens (Athens, Greek), **査読付**
6. KANDA, Yui. *5th International Conference of NIHU Program for Islamic Area Studies*, “Safavid Ceramic Tombstones: Reconstruction of Funerary Practice in A.H. 11th/17th Century Iran,” ポスター報告 (個人・英語), 2015年9月11日, 於上智大学 (東京), **査読付**
7. KANDA, Yui. *The First International Conference of Islamic Archaeology in the East*, “The 15<sup>th</sup> century-Cairene Workshops Reconsidered,” 口頭報告 (個人・英語), 2013年12月9日, 於 Cairo University (Cairo)

#### 【学会報告 (国内学会)】

1. 神田惟. 日本オリエント学会第58回大会「サファヴィー朝期ラスター彩陶再考：ハンブルク美術工芸博物館所蔵ラスター彩陶製墓碑文の検討」口頭報告 (個人・日本語)、2015年10月18日、於北海道大学 (北海道)、**査読付**
2. 神田惟. 日本オリエント学会第57回大会「オリエントから見た『オリエント』—『ペルシア三彩』の収集を事例に」口頭報告 (個人・日本語)、2014年10月26日、於上智大学 (東京)、**査読付**

#### 【学会報告 (チェア・ディスカッサント)】

1. KANDA, Yui. *11<sup>th</sup> Biennale of International Society for Iranian Studies*, “Timurid and Safavid Technology and Culture” パネルチェア 2016年8月3日、於 University of Vienna (Vienna, Austria),  
<http://societyforiranianstudies.org/content/timurid-and-safavid-technology-and-culture>

#### 【その他講演 (研究会含む)】

1. 神田惟. 第1回パレスチナ考古学研究会「マムルーク土器概要：ベイティン遺跡遺物の研究活用性の検討」口頭報告 (個人・日本語)、2017年1月28日、於慶應義塾大学三田キャンパス (東京)、**招待有**
2. 神田惟. 第17回中東★イスラーム研究セミナー「サファヴィー朝期における工人と詩人：ペルシア語詩人伝からみた工芸史、工芸品からみたペルシア文学史」口頭報告 (個人・日本語)、2016年12月18日、於東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所

(東京)

3. 神田惟. 東文研セミナー第8回コプト・イスラーム物質文化研究会「ガイビー工房再考：ブルジー・マムルーク朝期（1390～1517）の釉下彩陶史再構築の試み」口頭報告（個人・日本語）、2016年6月25日、於東京大学（東京）、**招待有**
4. 神田惟. 「東方アジアにおけるイスラームの諸相—思想・美術・コレクション」シンポジウム『『好み』と『言説』：日本におけるイスラーム陶器蒐集（1921～1989）の分析』口頭報告（個人・日本語）、2014年11月9日、於慶應義塾大学（神奈川）、**招待有**
5. 神田惟. イスラーム地域研究・若手研究者の会（旧イスラーム国家論研究会）2012年度4月例会「12-13世紀のシリア、エジプト、イラン、アナトリアにおける窯業史の再考—三上・フーケコレクションのフスタート採取『ルサーファ』陶器を中心に」口頭報告（個人・日本語）、2012年4月22日、於東京大学本郷キャンパス（東京）
6. 神田惟. 第3回コロキウム博約文社「イラン陶器とペルシア語銘文の関わりについて：イラン・イスラーム共和国における語学研修と陶器・タイルに関する調査の報告」口頭報告（個人・日本語）、2011年12月17日、於東京大学本郷キャンパス（東京）
7. 神田惟. 早稲田大学イスラーム地域研究機構拠点強化事業『『モノ』から見た知の技術と生活文化の変容と交流』第2回研究会「ニューシャープールの『ペルシア三彩』について」口頭報告（個人・日本語）、2011年1月29日、於早稲田大学早稲田キャンパス（東京）

#### 【競争的資金】

1. 公益財団法人鹿島美術財団「美術に関する調査研究の助成」、研究テーマ：『ティムール・ルネサンス』以降のイランにおける工芸品とペルシア語詩の関係」、90万円、2018年5月～2019年4月、研究代表者（助成内定）
2. 公益財団法人三島海雲記念財団「個人研究奨励金」、研究テーマ：「ティムール・サファヴィー朝期イランの工芸とペルシア語文化」、100万円、2017年7月～2018年6月、研究代表者
3. 科学研究費特別研究員奨励費、研究テーマ：「イスラーム陶器の研究：エジプト、シリア、トルコ、イランの釉下彩技法を中心に」（15J10363）、280万円、2015年4月～2018年3月、成果報告書：<https://kaken.nii.ac.jp/ja/grant/KAKENHI-PROJECT-15J10363/>
4. 国際文化教育交流財団（現・経団連国際文化教育交流財団）2012年度東京倶楽部奨学生
  - ◇ 派遣国：イギリス
  - ◇ 派遣先：オックスフォード大学大学院東洋学研究科イスラーム美術史・考古学 M.Phil.課程（2012年10月～2015年7月）、学位論文：*Safavid Ceramic Tombstones*
5. オックスフォード大学大学院東洋学研究所「夏期語学研修プログラム」2013年夏季奨学生
  - ◇ 派遣国：ヨルダン・ハシミテ王国
  - ◇ 派遣先：カースイド・アラビア語研究所「古典アラビア語中級」コース
6. オックスフォード大学大学院ウルフソン・カレッジ「リサーチ&トラベルグラント」2013年奨学生
  - ◇ 派遣国：フランスおよびエジプト
  - ◇ 派遣先：ルーブル美術館（パリ）およびカイロ大学（カイロ）
7. 東京大学大学院人文社会系研究科「次世代人文社会学育成プログラム」2010年度夏期派遣生
  - ◇ 派遣国：イラン・イスラーム共和国（2010年12月5日～2011年1月20日）
  - ◇ 研究テーマ：「イラン陶器と銘文との関わり」、50万円、成果報告書：[http://www.l.u-tokyo.ac.jp/assets/files/news2010/h22natsu\\_kojin/kanda\\_p.pdf](http://www.l.u-tokyo.ac.jp/assets/files/news2010/h22natsu_kojin/kanda_p.pdf)

### 【教育活動に係る実績】

1. 東京大学フューチャーファカルティプログラム（東大FD）修了（2015年度）  
※シラバスの準備や、アクティブ・ラーニングを取り入れた模擬授業の実践を通じ、学生が主体的に学び、批判的思考を身に付けていくために必要なスキルを習得した。
2. 京都造形芸術大学藝術学舎非常勤講師（2017年度冬期、「イスラーム美術史入門」、隔週火曜日、各2時間全5回）
3. 東京大学教養学部英語部会非常勤講師（2018年度S1S2ターム、「教養英語（英語一列）」、火曜日3・4限、内定済）

### 【フィールド実務経験】

1. 2016年8月6日～26日 慶應義塾大学隊パレスチナ・ベイティン地区発掘調査（招待あり、イスラーム期の遺物担当スタッフとして同行）

### 【学会活動】

- ・日本オリエント学会 会員（2012年4月～）
- ・東洋陶磁学会 会員（2012年4月～）
- ・Historians of Islamic Art Association (HIAA) 学生会員（2012年4月～）
- ・東京大学東洋文化研究所「班研究 W-4 イスラーム美術の諸相」班 陶器担当者（2012年4月～）
- ・Association for Iranian Studies (AIS) [旧 International Society for Iranian Studies (ISIS)] 会員（2015年6月～）
- ・Association for the Study of Persian Societies (ASPS) 会員（2015年9月～）
- ・Middle East Studies Association of North America (MESA) 会員（2017年2月～）
- ・地中海学会 会員（2017年5月～）

### 【社会貢献活動】

- ・東京国立近代美術館工芸館インターン（2008年5月～2010年3月）
- ・私立光塩女子学院高等科グローバル・ガイダンス講師（2015年度、2016年度）

### 【言語】

英語（英語での授業が実施可能なレベル）、アラビア語（読解中級）、ペルシア語（読解中上級）、フランス語（読解初級）